



# 行事・会合予定



日	曜	時間	内容
1	金	18:30	自治公民館長会・まちづくり協議会
2	土		
3	日	7:00	大日山遊歩道整備他草刈り
4	月		
5	火		
6	水	10:00	なごもう会
7	木		
8	金	10:00	e-sportsの日(希望者:どなたでも可)
9	土	14:00	西郷地区大運動会器具点検・健康推進部会
10	日	10:00	防災研修会
11	月		
12	火	9:00	ふれあい給食サービス
		9:30	ボランティア活動(雑巾づくり)
		14:30	さいごうっ子クラブ
13	水		
14	木		
15	金		学校開放企画運営員会
16	土	9:00	大日山フットパス
17	日		
18	月		
19	火		
20	水	10:00	なごもう会
21	木		
22	金	19:00	サラバンダ拡大実行委員会
23	土	13:30	西郷地区大運動会準備
24	日	9:00	西郷地区大運動会
25	月		
26	火	9:00	ふれあい給食サービス
27	水		
28	木		
29	金	10:00	e-sportsの日(希望者:どなたでも可)
30	土		
10/1	日		
2	月		
3	火		

## 西郷地区人口集計

( )内は前月比

世帯数 2, 247戸(+1)  
 人口 4, 703人(-2)  
 男 2, 232人(+1)  
 女 2, 471人(-3)

(令和5年7月末現在)

倉吉市住民記録人口集計より

## 各教室の活動予定

### 【ストレッチ教室】

9月4日・25日(月)  
13:30~

### 【お茶を楽しむ会】

9月7日(木) 13:30~

### 【ラウンドダンス】

9月11日・25日(月)  
10:00~

### 【西郷シニア元気塾】

9月13日・27日(水)  
9:30~

### 【囲碁教室】

9月13日・27日(水)  
13:30~

### 【絵手紙教室】

9月21日(木) 13:30~

### 【川柳教室】

9月19日(火) 13:30~

### 【草の実俳壇】

9月13日(水) 10:00~

### 【e-sports体験会】

9月8日(金) 10:00~

新しい仲間を  
募集しています

## 西郷コミュニティセンターだより

西郷コミュニティセンター  
 〒682-0031  
 倉吉市下余戸118-1  
 【電話】(0858) 26-2046  
 【FAX】(0858) 26-3653  
 開館: 月~金  
 9:00~17:00  
 (祝祭日を除く)  
 利用: 9:00~22:00

# さいごう

【メールアドレス】  
kosaigou@ncn-k.net

【ホームページ】  
QRコード



## 令和5年度 西郷地区大運動会

主催: 西郷地区まちづくり協議会



<日時> 9月24日(日) 9:00~12:00 (悪天候中止)

<場所> 西郷小学校校庭

4年ぶりに西郷地区大運動会を開催します。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが、5類感染症に変更されたものの、引き続き感染対策が必要な為、今年度の大会は競技内容の見直しをはかり、終了時間を1時間短縮(12時終了)といたします。ぜひともご家族やご近所の方同士、お誘いあわせの上ご参加ください。

なお、駐車場スペースが限られていますので、できるだけ乗り合わせ、また自転車や徒歩でおいでください。

※詳細は、全戸配布の大会プログラムをご覧ください。



## 大日山フットパスについて

○期 日 9月16日(土)

集合場所 西郷コミュニティセンター

集合時刻 8時45分

登山は9時に出発します。



持参品 飲み物、タオル、敷物等、熱中症対策グッズ  
 参加希望者は9月8日までにコミュニティセンターの安長まで申し込んでください。

なお、雨天及び熱中症警戒情報が発令されている場合は中止します。また、コロナ対策は各個人でお願いします。

当日、体調不良の方は無理をしないでください。

○大日山遊歩道及びセンター周辺の草刈りについて

日 時 9月3日(日) 午前7時より

雨天の場合は9月10日に行います。

大日山は、古くから親しまれてきており、山頂は行き来する人が足を止めるほど景色の良いところであった。山頂には大日如来像が設置されており、行き来する人の安全や地域住民の安全を祈願してきたようである。その山頂に続く道は、しばらく放置されていたが、近年西郷地区振興協議会の働きかけにより整備されてきた。そこで、その道を木々の様子や景色を楽しみながらゆっくりと歩き、頂上の景色を楽しみ併せて西郷地区住民の安全祈願をするなどの行事を『大日山フットパス』として実施してきたようです。(フットパスとは、自然や風景、伝統的な町並みなどを楽しみながら歩くことのできる小道のこと(出典:日本大百科全書(ニッポニカ))

## Nintendo Switchを購入しました。

全国各地で行われている高齢者対象のフレイル予防教室にある変化が起きているようです。その一つとして、市販のゲーム機を使ってゲームをしたり体を動かすなどして、これまで以上に楽しみながら教室に通う高齢者が増えているとの事です。倉吉市内のいくつかのセンターでも市販のゲーム機を活用して高齢者向けの講座やリレーション等を行っている所もあるそうです。西郷地区まちづくり協議会でも、ゲーム機を活用してみたいと思っていたところ、事業費を活用して購入ができることが分かりましたので、お盆明けに2セット購入しました。

これから、福祉部会や健康推進部会が中心となって、長生会やサロン代表者の方、健康増進に関心のある方に体験してもらえよう準備を進めていきたいと思ひます。

また、住民の方にも関心のある方には個人でも体験していただけるよう2回程程度の体験日(半日)『e-sportsの日』を設定して、活用を図ってきたいと思ひます。関心をお持ちの方は、是非西郷コミュニティセンターに連絡いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



## 西郷川柳教室

選者: 牧野 芳光

☆お題「列」

修学列車ガッタングトン胸キュキユキ

割り込みはだめだと強い視線射る

欲深く最後尾でも列に入る

選者吟

列外にいるとだんだん腹が立つ

☆お題「うっとり」

忘れられぬ過去にうっとり時過ぐす

鏡みて化けて別人うっとり

金髪と高いヒールにうっとり

選者吟

行く雲をうっとりとした少年期

次回 九月十九日(火) 午後一時半

場所 西郷コミュニティセンター

題 「網・アミ」「預ける」

淑子

あけみ

悦子

悦子

淑子

## 草の実俳壇

咲き終へて真中を占むる蓮花托

飛び習ひさあ旅立ちや燕の子

川蜻蛉尾つぽびこ葉に遊ぶ

僧の来て温もりもせぬ夏座蒲団

次回 九月十三日(水) 午前十時

場所 西郷コミュニティセンター

茶谷 まちこ

宮本 きょう子

中井 えつこ

田中 ひでや



## 報告とお知らせ

### 因州和紙折り染め&ランプシェードづくり

開催日：8月18日(金)

貞谷隆子さん(和紙おりがみsada工房)の指導により、因州和紙を折って、自分の好きな色を使いどのような模様ができるのかイメージしながら染め、オリジナルのランプシェードをつくった。

それぞれ違った模様や色合いの素敵なランプシェードが出来、子どもたちにとっては、夏休みの工作のひとつになったようだ。

この作品は、10月開催のサラバンダの展示コーナーで飾る予定です。みなさんお楽しみに!



### 陶芸体験

開催日：8月24日(木)

湯梨浜町の就労継続支援B型事業所ハッピーバーディーの森田さんに講師をお願いし陶芸体験をしました。親子で体験する方もおられ、それぞれが思い思いの作品を作りました。この日の作品はこれから補修・乾燥・窯入れを経て10月のサラバンダin西郷で展示される予定です。土色の作品が希望する色に生まれ変わって手元に戻ってくるのが待ち遠しいですね(^\_^)



### 親子でボルダリング教室

開催日：8月26日(土)

鳥取県立倉吉体育文化会館倉吉スポーツライミングセンターで、親子でボルダリング教室を開催。河上紘輝さんより、ボルダリングのルールや登り方のコツなどの指導を受け、15名の子どもやその保護者たちがボルダリングに挑戦した。

難易度が上がるにつれて難しくなっていたが、何度もチャレンジしてゴールまで登れた時は、とても嬉しそうなお顔がいっぱいだった。

子どもたちからは、「難しくて苦労したけど楽しかった。またやりたい!」などの声があり、親子で夏休みの楽しい思い出が出来たようだ。



### 宿題かたづけちゃおう!

今年度は、7月27日(木)~28日(金)、8月16日(水)~18日(金)、8月24日(木)~25日(金)の延べ7日間計画しました。小・中学生達はそれぞれに宿題を持ち寄り、それぞれに学習に取り組んでいました。中学生や高校生、短期大学生達が子どもたちの進み具合を見ながら助言している様子や、異年齢の人たちが出会う場でもあり、今後も継続して取り組みを進めていきたいと感じたところです。

また、今年の反省を来年に生かすためにも、ご意見等がありましたらお寄せください。よろしくお祈りします。ご協力いただきました方々に感謝申し上げます。



### 防災安全部会より

8月15日の台風7号では鳥取県東中部で甚大な被害が発生しました。幸い西郷地区では大きな被害はありませんでしたが、一部市道で浸水がありました。また、天神川は氾濫危険水位近くまで水位が上がりました。今回は数十年に1度あるかないかの大雨でした。これから、台風シーズンに入りますので天気予報には注意しましょう。

- 9月1日は防災の日です。  
各家庭で防災用品、備蓄品の点検を行いましょう。

- 防災研修会について  
日時 9月10日(日) 午前10時より  
「地域防災計画」について  
講師 防災士 安長 貴洋 氏



**若桐山** 令和2年度に実施した住民アンケートの結果をみると、西郷地区において、「まちづくり」を進める上で取り組みを進めて欲しいと要望をいただいた(64)項目の内要望の多かった上位5項目を見ると、『①「防犯灯の設置と維持」②「清掃活動(草刈りゴミ拾い)」③「高齢者の見守り」④「防犯パトロールの実施」⑤「ウォーキングや健康体操の普及」』等であった。

まちづくり協議会がすでに具体的な取り組みを行っているものとそうでないものに分かれる。いずれにしても上記の項目は重要な項目でもある事から、これらの項目に関するまちづくり協議会の対応が皆様に伝わるよう引き続き方向付けをしていきたい。

### ふれあい給食サービスボランティア研修会

8月23日(水)、西郷地区のふれあい給食サービスボランティア(調理スタッフ)を対象とした衛生研修会を開催しました。

講師を地域包括支援センターマグノリアの管理栄養士:植田氏とル・サンテリオン管理栄養士:大森氏にお願いし、食品衛生(細菌等)に関わる講習を受け、また特殊な薬剤を使った手洗いテストを行いました。手洗いテストをした参加者は「念入りに手洗いフォームを使って2回も洗ったのに、ブラックライトで見ると汚れ(薬剤)が落ちていないところが何か所かあった」と、今後の手洗いに気を付けるきっかけを得たようでした。



### さいごうっ子クラブのお知らせ

9月の内容は『マジシャンになろう!』です。小道具を工作してマジックをおぼえてクラス会や子ども会、おうちで披露しましょう!

<日 時> 9月12日(火)  
14:30~15:30

<場 所>  
西郷コミュニティセンター

\*詳細・申し込みは学校配布のチラシをご覧ください。



### 「9月はがん征圧月間です」

日本対がん協会と日本医師会は、1960年から毎年9月をがん征圧月間と定めています。

医療や食生活が進歩した現在でも、2人に1人ががんになるといわれ、3人に1人はがんで亡くなっています。倉吉市民の死因第1位はがんです。しかし、早期がんの段階で発見できれば治療の選択肢は広がり、その後の生存率にも影響します。がん細胞が約1~2cm(早期がん)になるまでは10年以上かかりますが、早期がんから進行がんになるのは数年と短いことから、症状がなくても定期的に健診を受けることが重要です。年に1回はがん検診を受け、早期発見・早期治療につなげましょう。

また、がん検診を受けて「要精密検査」とされても精密検査を受けていない方がおられます。健診で要精密検査と判定されても、それがすべてがんに結びつくわけではありません。精密検査は必ず受けましょう。健診の詳細については、対象者へ郵送しております「健康の手引き」または、ホームページをご確認ください。

(85歳以上の方は申し込み後、受診券を発送しています)

倉吉市 健康推進課 (電話番号:0858-27-0030)

### 一言ひろば

山根自治公民館長 小谷 清美

我が家では、今年も7月下旬頃からイノシシが出没し始めた。えさとなるミミズを求めて、庭や畑を掘り返している。農林課に連絡し、猟師さんにくり毘を仕掛けていただいたが、根本的な解決にはならないだろう。

以前に比べてイノシシやシカが増えている理由の一つに、ニホンオオカミの絶滅があるという。ニホンオオカミは明治初期には絶滅したといわれ、イノシシやシカの敵は、今では人間だけとなっている。しかしながら猟師さんの多くは高齢者となり、後を継ぐ人は少ない。

あるとき、次のような記事を見た。イノシシやシカを撃退するために外国からオオカミを持ち込んだらどうか、という記事である。一見納得のいく話のようにも思えるが、これまでの歴史を見ればうまくいくとは思えない。

食用として持ち込まれた牛ガエルやアメリカザリガニは現在どうなっているのか。ヌートリアやブラックバス、ブルーギルはどうなっているのか。よかれと思ったことが、結局は日本独自の生態系を壊し、絶滅危惧種を増やしているありさまである。

昨年記事では里山の再生を提案したが、今回は若い猟師さんの育成を提案してみたい。

倉吉市鳥獣被害防止計画を読んでも、令和5年度の捕獲計画が出ていた。イノシシは850頭、シカは150頭、ヌートリアは250頭となっていた。これまでの実績から掲げた数字らしいが、過去数年間の実績をみると、実際はこれらの数には至っていない。

イノシシやシカを捕まえると倉吉市では1万3千円の補助、ヌートリアは3千円の補助が出るらしいが、この金額では生業とするには困難である。補助額を上げるとか、肉の流通を確保するとかして、若い人たちの生活が成り立つようにならないものかと強く思う。

